

建物	階数	会場名	部屋名	12月11日(火)【第1日目】			12月12日(水)【第2日目】			12月13日(木)【第3日目】			12月14日(金)【第4日目】
				9:00 - 11:30	13:15 - 15:30	15:45 - 18:00	9:00 - 11:30	13:15 - 15:30	15:45 - 18:00	9:00 - 11:30	13:15 - 15:30	15:45 - 18:00	9:00 - 11:30
福岡国際会議場	5F	第1会場	国際会議室501	1W1I 有性生殖におけるゲノム・遺伝子相関 北野 潤・高山 誠司	1W1II 代謝と生活習慣病をつなぐエピジェネティクス制御機構 尾池 雄一・真鍋 一郎	1W1III 増殖を停止した細胞の生物学 竹内 隆・北川 雅敏	2W1I メタボロミクスが解き明かす生命科学 曾我 朋義・斎藤 嘉朗	2W1II システムとしてのRNA研究とその生物学的意義 金井 昭夫・程 久美子	2W1III 長鎖非コードRNAの分子生物学・医学研究からの視点 黒川 理樹・大吉 崇文	3W1I 個体維持における老化の意義 石川 冬木・西田 栄介	3W1II 転写因子による細胞運命の直接転換 鈴木 淳史・深水 昭吉	3W1III 分子修飾による転写とエピジェネティック制御のクロストーク 大熊 芳明・伊藤 敬	4W1I 非コードRNAの機能の仕組みとその制御機構 塩見 美喜子・廣瀬 哲郎
				第2会場	中会議室502+503	1W2I 生細胞内でRNAを観る・操る・理解する 王 丹・佐藤 慎一	1W2II メンブレントラフィックと疾患 渡邊 利雄・富田 泰輔	1W2III オートファジーによる分解の諸相 野田 健司・久万 亜紀子	2W2I RNA制御の細胞生物学 中村 輝・井上 邦夫	2W2II 核内構造ネットワーク:分子構築と高次生命機能への寄与 原田 昌彦・斎藤 典子	2W2III 細胞核構造体によるエピゲノム制御機構 胡桃坂 仁志・原口 徳子	3W2I 発生と進化に関わるトランスポゾン由来のDNA 石野 史敏・眞貝 洋一	3W2II 次世代のバイオインフォマティクス 遠藤 俊徳・矢田 哲士
	4F	第3会場	小会議室401~403	1W3I 分化・再生からゲノム進化まで—その多様なメカニズム 嶋 雄一・荻野 肇	1W3II ゆらぎと可塑性を有する染色体運命の動的維持・変換機構 正井 久雄・村上 洋太	1W3III 生物進化への新しいアプローチ 大島 靖美・小林 一三	2W3I 原核生物における種の定義:新時代のゲノム微生物学から種の規定を考える 大島 泰郎・別所 義隆	2W3II 宇宙における生命の起源 山岸 明彦・田村 浩二	2W3III ウイルス進化の統合生物学的研究 鈴木 善幸・伊藤 公人	3W3I 知られざるミトコンドリアの多面性 小柴 琢己・岡本 浩二	3W3II 寄生・細胞内共生成立による生物進化の分子基盤解明に向けて 永井 宏樹・橋本 哲男	3W3III ゲノムを作り、種を越えて動かす:合成生物学的観点から見る水平伝播 板谷 光泰・片岡 正和	4W3I 第三世代抗体医薬開発を目指した先導的研究 芝崎 誠司・東岸 任弘
				第4会場	小会議室404~406				2W4II NMRで見るタンパク質の機能発現 西村 善文・嶋田 一夫	2W4III 生体分子イメージングへの新たな挑戦—ラマン分光、フローブレスイメージングによる分子機能解析とがん診断への応用— 大嶋 佑介・佐藤 英俊	3W4I ATMファミリーキナーゼの多様な制御機構と組織・動物種特異的な役割 堀越 正美・深川 竜郎	3W4II ヒストン 小林 純也・塩谷 文章	3W4III TOR研究の最前線 前田 達哉・丑丸 敬史
		第5会場	中会議室409+410	1W5I 生体膜コンパートメントの形成と機能 木下 タロウ・梅田 真郷	1W5II DNA損傷応答研究の新境地 白井 雄彦・小西 昭充	1W5III ゲノム安定性と発がん・老化の抑制 日高 真純・續 輝久	2W5I ゲノムDNAのダイナミクスとホメオスタシス 太田 邦史・篠原 美紀	2W5II 放射線・紫外線による染色体DNA損傷修復の分子基盤(クロマチンリモデリング、タンパク質修飾、構造生物学による総合的理解を目指して) 荻 朋男・安田 武嗣	2W5III がんゲノムから見たDNA修復異常と突然変異誘発機構 菅澤 薫・河野 隆志	3W5I DNA複製機構とその制御—生物種を越えた統一的理解を目指して— 荒木 弘之・片山 勉	3W5II 染色体複製と核・細胞機能の接点 田中 誠司・杉本のぞみ	3W5III 染色体トランスアクションタンパク質とクロマチン構成タンパク質のクロストーク 約本 敏樹・升方 久夫	4W5I 遺伝子サイレンシング:その進化的普遍性と多様性 大島 拓・内藤 拓
		第6会場	中会議室411+412	1W6I いきものかたち:形態への理論的アプローチ 石原 秀至・森下 喜弘	1W6II 確率的な生命現象への定量的アプローチ 小林 徹也・柴田 達夫	1W6III 堅さと形が決める細胞の運命と挙動 木岡 紀幸・米村 重信	2W6I 動物におけるリガンド-受容体ペア—その多様性と普遍性を探る— 松林 嘉克・東原 和成	2W6II 細胞分裂および細胞骨格—さまざまな生物種における多様性と共通性— 五島 剛太・笹部 美知子	2W6III 細胞の分化と細胞骨格と脂質膜による細胞構造形成のダイナミクス 渡邊 直樹・末次 志郎	3W6I 細胞外プロテオリスによる細胞挙動の制御 瀬原 淳子・西脇 清二	3W6II 単純から複雑へ—進化発生学のいま 入江 直樹・遠藤 求	3W6III 哺乳類の性分化・性成熟の新知見:性腺機能を制御する遺伝子ネットワークとその破綻による疾患 深見 真紀・高田 修治	4W6I 意思決定のヒラメキ:定量的行動解析と蛍光イメージングで探る情報処理の神経基盤 石原 健・江島 亜樹
		第7会場	中会議室413+414		1W7II RNA合成の構造基盤 横山 茂之・石浜 明	1W7III 構造に基づいたABC蛋白質の分子メカニズムと疾患 植田 和光・加藤 博章	2W7I 細胞の競合による生体制御の分子基盤 井垣 達史・松田 七美	2W7II ケミカルバイオロジーの新展開:ケミカルシグナリングの理解に向けて(坂神洋次追悼ワークショップ) 吉田 稔・上杉 志成	2W7III 植物ホルモン受容体とシグナリングの分子レベルの生物学 箱嶋 敏雄・経塚 淳子	3W7I 染色体分配理解への新しい挑戦 上野 勝・須谷 尚史	3W7II 減数分裂期における染色体のダイナミクス Peter Carlton・石黒 啓一郎	3W7III 最先端の技術が拓く卵細胞生物学 大杉 美穂・北島 智也	4W7I 自己組織化と生命:分子と生命をつなぐ架け橋 大山 隆・吉川 研一
		第8会場	メインホール	1S8I 大量シーケンズ時代の医療分子生物学 加藤 和人・辻 省次	1S8II 遺伝子発現制御研究:エピゲノム時代、そしてゲノムトポグラフィー時代の到来 塩見 春彦・中川 真一	2S8I 生殖生物学・生殖工学の発展史とその最前線 斎藤 通紀・東山 哲也	2S8II オミックスデータから読み解く生命現象 Charles Boone・白髭 克彦	2S8III 複雑な生命システムへの理論的・構成的アプローチ 望月 敦史・澤井 哲	3S8I 比較ゲノムから、ゲノム編集/デザイン時代の 阿形 清和	3S8II 神経組織における細胞機能と情報伝達のイメージング 松田 道行・宮脇 敦史	3S8III 構造は機能を語るか?神経発生におけるシグナル授受のしくみをめぐって 山本 亘彦・高木 淳一	4S8I 炎症の分子生物学 竹内 理・有田 誠	
	2F	第9会場	多目的ホール201	1W9I 骨格筋幹細胞研究の最前線 小野 悠介・橋本 有弘	1W9II ES/iPS細胞を用いた中胚葉・内胚葉系幹細胞の <i>in vitro</i> 分化誘導 原 孝彦・糸 昭苑	1W9III 幹細胞制御機構:ニッチはどこまで解明されたか? 依馬 秀夫・吉田 松生	2W9I 抑制性ニューロンの機能と病態 有賀 純・仲嶋 一範	2W9II 脳神経系の形成過程における神経幹細胞の増殖・分化制御 今吉 格・三好 悟一	2W9III 器官形成—3次元構造の構築 西中村 隆一・宮島 篤	3W9I Notchシグナルによる細胞の多能性と分化の制御 松野 健治・北川 元生	3W9II 脊索動物の初期発生研究における新たな展開 高島 直士・平良 眞規	3W9III 発生生物学の最前線:個と全体をつなぐ新規メカニズム 政井 一郎・小田 広樹	4W9I Rhoファミリー低分子量G蛋白質による情報伝達制御 白水 美香子・村山 和隆
		第10会場	多目的ホール202			2W10I 疾患をコントロールする糖鎖 北爪 しのぶ・西原 祥子	2W10II 細胞内シグナル伝達システムとがん研究の新展開 武川 睦寛・三木 裕明	2W10III Infection Biology: 微生物-宿主間相互作用の包括的な理解を目指して 高岡 晃教・阿部 章夫	3W10I がん研究の新局面—Aktシグナルと癌幹細胞— 大木 理恵子・後藤 典子	3W10II 腫瘍抑制シグナルの新局面 鈴木 聡・畑 裕	3W10III 死細胞による生体の恒常性維持とその破綻 中野 裕康・田中 正人	4W10I エピキチンによる多彩な生体制御メカニズム 村田 茂徳・嘉村 巧	
		第11会場	多目的ホール203	1W11I 遺伝子発現とタンパク質分解によって産み出される記憶制御のダイナミクス 喜田 聡・斎藤 実	1W11II シナプス前終末での機能分子制御 持田 澄子・高森 茂雄	1W11III 動物の行動制御メカニズムの新展開 小早川 令子・疋田 貴俊	2W11I ストレスネットワークを疾患生物学から捉える 松本 征仁・佐藤 毅	2W11II システム医学アプローチによる疾患解析 井上 聡・浅原 弘嗣	2W11III 神経・筋疾患に関する最近の研究:発症メカニズムの解明・治療・細胞骨格 石浦 章一・細谷 浩史	3W11I 哺乳動物における順遺伝学の推進力 竹田 潤二・石田 靖雅	3W11II 精神のオミックス 内匠 透・松本 直通	3W11III 睡眠リズム障害による生活習慣病のクロモレキュラーメディスン 榎葉 繁紀・岡村 均	4W11I 概日リズムの発振と制御の分子ネットワーク 八木田 和弘・明石 真
		第12会場	多目的ホール204	1W12I 新規光源を駆使した生体光イメージング 今村 健志・根本 知己	1W12II 分子生物学と生化学の狭間に潜むナノシステム動作力学の理解を目指して 永井 健治・原田 慶恵	1W12III 生体イメージングの画像解析法の確立と定量生物学への応用 石井 優・菊地 和也	2W12I 人工スクリーンを用いたゲノム編集 山本 卓・刑部 敬史	2W12II 生命現象をエネルギー代謝から理解する 林 良樹・山口 良文	2W12III 低酸素バイオロジー:転写制御から細胞間ネットワークへと広がるハイボキシア研究の最前線 合田 亘人・武田 憲彦	3W12I 膜機能タンパク質の構造と機能の動的変化へのアプローチ 久保 義弘・瀧水 理	3W12II RNA病解明への挑戦 片岡 直行・亀山 俊樹	3W12III mRNA factory の基本原理の解明から発症メカニズムの理解へ 稲田 利文・大野 睦人	